

## システム情報工学研究科修士論文概要

年 度	平成 26 年度	学位名		修士( 工学 )
専 攻	知能機能システム	専攻	著者氏名	聶 添
指導教員氏名 宇津呂 武仁				
論文題目				
日中質問回答サイトの比較対照分析による文化間差異発見支援				
論文概要				
<p>近年, 国際化による日中両国の経済や文化の交流が増加している. お互いの国についての関心度が高まりつつあるため, 日中間の文化間差異を発見することが大切である. しかし, 従来の文化間差異を発見するための手法では, 他国における資料の収集, 分析や調査が必要であるため, コストが非常に大きく, 作業に取り組むことは困難である. ところが, 近年, インターネットの発展によって, 他国に関する情報をインターネット経由で容易に利用することが可能となり, 膨大な作業コストを削減できるようになってきた. しかし, インターネット上の情報を用いた文化間差異発見の過程を支援するための研究はまだあまり行われていないのが現状である. ウェブ上の有用な情報を利用することによる文化間差異発見支援の手法の確立が求められている.</p> <p>例えば, 先行研究で示したように, ニヶ国の間でブログを比較することにより, 国によって賛否両論が異なるという文化間差異を観察できることが分かった. しかし, 母国人と異なる文化を持つ外国人にとっては, 言語や生活習慣の相違等により, 特に異国において生活上のトラブルが発生しやすいと言える. 異国で円滑に日常生活を送るためには, 異国文化との違いを理解した上で, その国特有のトラブル情報とその対策を知ることが必要である. ところが, 先行研究では, 両国間のブログ上の共通話題を分析対象としているため, 各国特有のトラブル情報のみを選択的に収集するのは困難である. 即ち先行研究においては, 異文化間において発生するトラブルの発見を支援することは現実的に困難であると考えられる. そこで, 本論文では, 日中質問回答サイトから情報を収集し, 日本と中国の間の文化的対照性を分析する手法を提案する.</p> <p>実際の手順においては, まず, 日本と中国の間で文化的な差異が大きいことが期待できる話題を人手で選定する. そして, 選定した話題についての日本語と中国語の質問・回答事例を自動収集する. 最後に, 収集された事例を用いて日中の中で比較対照分析を行い, 「日本側でのみ観測された話題」, 「日中両側で観測された話題」, 「中国側でのみ観測された話題」の三つに分類を行う. 第一ステップとして, 収集された事例の集合から, 標本集合をサンプリングし, 日中の回答について比較対照分析を行う. 次に, 第二ステップとして, 第一ステップにおける「日本側でのみ観測された話題」および「中国側でのみ観測された話題」が, 実際に相手言語側に存在していないかどうかを網羅的に調査する. 以上の三つの手順を踏まえて, 結果として, 同一の話題において日中で異なる観点の質問・回答が観測された.</p>				
審査日	平成 27 年 1 月 29 日			
審査員	(大学名 職名)	(学位)	(氏名)	
主査	筑波大学 教授	博士(工学)	宇津呂 武仁	
副査	筑波大学 教授	工学博士	丸山 勉	
副査	筑波大学 准教授	博士(工学)	古賀 弘樹	